

家庭で図画工作科・美術科の学習をすすめるための諸条件（例）

1. 教材選びについて

- 児童生徒の安全面に配慮した道具、材料を使う内容であること。
- 材料は買いに行く必要がないこと。
- 屋内で作業可能な内容であること。等

2. ワークシート作成の留意点について

- 制作の手順をイラストや写真とともに説明した資料
 - 児童生徒の表したいことを大切にしたワークシート
- 【めあての例】
- ・材料に触りながら表したいことを探してみよう。
 - ・お気に入りの場所をスケッチしよう。

3. 家庭の支援について

- 特に入学したばかりの小学校1年生は、ワークシートの文字を読むことができないため、保護者が一緒に考えたり、作業内容を一緒に確認したりする等の支援が必要。

【学校】 事前指導

- ①活動の見通しが持てる「めあて」の確認。
- ②どんなことを表したいか構想を膨らませ、イメージをもたせる。
- ③ワークシートに思いを記述させる。（アイデアスケッチ含む）
- ④家庭での学習の進め方の説明。
- ⑤材料や資料などの配付。 等

【家庭】

- ・学校での指導事項やワークシートを踏まえ制作する。
- ・制作後の感想を書く
- ・家庭の人に作品を見た感想などを聞いてみる。 等

【学校】 事後指導

- ・作品やワークシートから子どもの学習状況を把握する。
- ・作品鑑賞会
- ・校内展示
- ・振り返り 等

事前指導を充実させることで家庭学習が充実してきます。

重要

